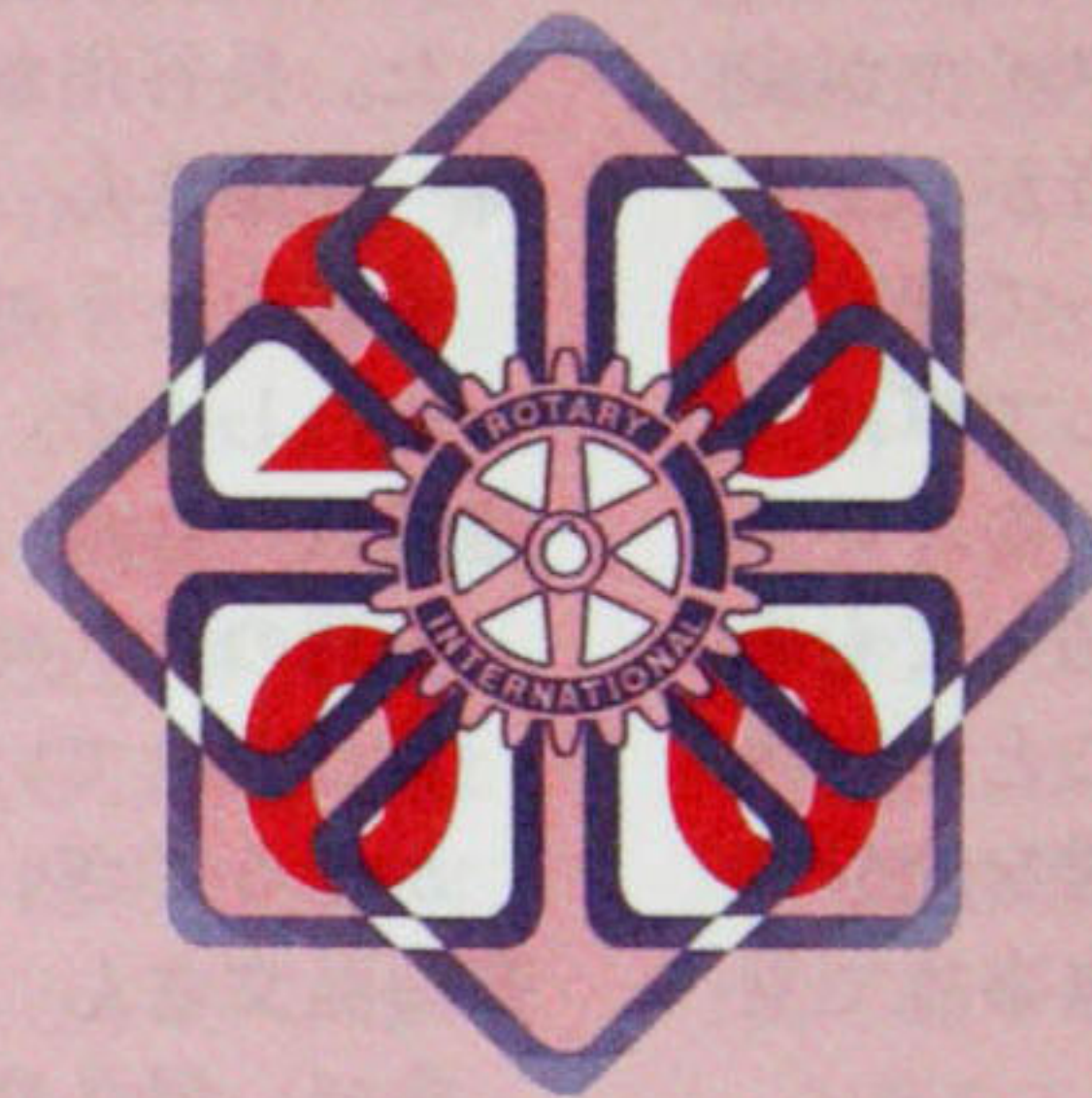


ROTARY 2000:
ACT WITH
CONSISTENCY
CREDIBILITY
CONTINUITY



ロータリー2000:
活動は—堅実、
信望、持続

1999～2000年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区
ガバナー——高木 貞一郎
会長——長谷川 有美
会長エレクト——斎藤 弘文
副会長——五十嵐 昭一
幹事——藤田 紘一
副幹事——丸山 行彦
S A A——五十嵐 寿一
副 S A A——荻根沢 隆雄

例会日——毎週水曜日 12:30～
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事務局——三条信用金庫本店
例会場——TEL 35-3311
事務局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

| | |
|---------|----------|
| 本日出席会員数 | 74名中 51名 |
| 先々週出席率 | 88.89% |

ビジター

三条北より
山上茂夫さん

ゲスト

三条市市民福祉部健康福祉課参事
基幹型在宅介護支援センター長
長谷川トミエ殿

先週のメイクアップ

12/9 見附へ
榎本 勝さん
12/8 新井へ
加藤紋次郎さん
12/9 三条ローターアクトへ
長谷川有美さん、藤田紘一さん、
小出子恵出さん、樺山 仁さん、
佐久間勝敏さん、高畑 昭さん



12/13 三条南へ
五十嵐昭一さん
12/13 新潟北へ
渋谷健一さん
12/14 三条北へ
渡辺宏策さん

会長挨拶

長谷川有美会長

白いものが降ってまいりました。気象庁の長期予報では中間頃に降雪があると言われておりましたがその通りでありました。予報というのはあまり信用しておりませんが今年は当りました。降雪量ですが自然界の動物の生態を見ますと当るとも言えます。カマキリの巣の高さによってその年の降雪量が予想できると言います。カマキリ博士の予報では今年より少ないそうですがその予報が当れば幸いかなと思っています。

冬になると雪の影響で事故が多くなります。スリップの原因はタイヤと路面との摩擦係数が小さくなり、思う様に車が止らないと言うことです。車輪がロックされて固定すればブレーキが良く利くと思っておりましたが、それは間違いでした。今的高级車はアンチロックブレーキと言いましてブレーキを踏んだ瞬間にも機能が働いてタイヤが少し回ります。その時にギ、ギ、ギ、と音がしますが異常ではありません。ハンドルを切って避けようとした場合にもハンドルは利き、そして車はその方向に行きます。しかしアンチロックのない車は車輪が固定されますのでハンドルを切っても車はそのまま進んでしまいます。避けることができません。ともかく一番良いのは車間距離を充分にとって気を付けていただきまして冬を無事故で乗り切っていただきたいと思ひます。

幹事報告

◎宮川ガバナーエレクトより2000～2001年度第2560地区依頼状がとどいております。

地区拡大委員会大委員長、地区拡大委員会委員長 広岡豊作さん

◎三条ローターアクトより新年会のご案内がとどいております。

とき 1月7日(金) PM7:30～
ところ 二洲楼

◎三条クリーン協議会より第4回担当者会議開催のご案内がとどいております。

とき 12月22日(水) PM6:30～
ところ 三条ロイヤルホテル

◎いからの里創立20周年記念作品展のご案内がとどいております。

とき 12月15日(水)～19日(日)
AM10:00～
ところ 県央サティ・2Fホール

ニコニコBOK



長谷川有美さん

先週の忘年会例会では、楽しく過ごさせて顶きました。親睦委員会の皆さん有難うございました。長谷川参事様卓話有難うございます。

林 光輝さん

長谷川トミエ様、お忙しい中卓話宜しくお願ひいたします。

藤田紘一さん

先週の夫人同伴忘年クリスマス例会大変楽しく過ごさせていただきました。長谷川様卓話ありがとうございます。

斎藤弘文さん

先日、屋久島に旅行に行つて参りました。自然の雄大とヤク杉の大きさに本当に驚きました。

船越正夫さん

所用で早退させていただきます。

小柳直人さん

欠席が続きましたので1口、でも今日早退ですのでもう1口。

12月15日分 ￥ 8,000
今年度累計 ￥ 319,000

卓話

「介護保険の現場から」

三条市市民福祉部 健康福祉課参事
基幹型在宅介護支援センター長
長谷川トミエ殿



支援センターは高齢者やその家族の総合相談窓口です。現在5ヶ所ありますが、中学校区毎に7ヶ所にする構想です。地域の身近な所で何でも相談できる窓口です。

平成6年に「塚野目の里」の特養施設の中に併設されました。8年に済生会病院と三条東病院に併設されました。11年に基幹型と「裏館の里」に1ヶ所で計5ヶ所になりました。12年には大崎地区にできます。更に総合福祉センターに1ヶ所できます。そして大島地区に1ヶ所と基幹型を除いて7ヶ所設置になります。「基幹型」に付いて昨年8月に国の要項改正があつて支援センターが複

数ある市町村では基幹型の設置が必須であると、それも市の直営で市の職員であること、そして基幹型を設置しない市町村にあつては介護担当課でその任務を担うものとする事との国の指導がありました。三条市ではいち早く基幹型が4月に設置されました。県内では今までに10の市町村で設置されています。

基幹型支援センターは何をするのかといひますと各在宅介護支援センターの統括支援であります。そしてこれからが大変なるであろう各サービス機関および居宅介護支援事業者との連携調整役を果たせということです。そして介護支援専門医、ケアマネージャーといひますが、現在三条市には70名程居りますがその研修会あるいはそこへタイムリーな情報提供、連携調整を計るということがあります。その役割は大変なことになるのかなと感じております。

高齢者の実態ですが、高齢化率は昭和55年9.1%、平成10年18.3%となりました。平成11年18.9%です。20年の間に2倍になりました。このまま進むと平成12年19%、13年には20%以上になります。つまり超高齢社会に入ると予測されますが県内人口は2000年をピークに低下しますので一層高齢化が心配されます。高齢化率の最も高い所は40%を超えています。高柳町40.4%、鹿瀬町39.7%、松之山町39.2%、松代町35.6%です。最も低い市町村では黒崎町14.3%、豊栄市15.8%、新潟市が16.3%です。三条市内ですが、町内別に見て30%を超えている所があります。本町1丁目、3丁目、4丁目は30%を超えています。10%以下は三竹、西大崎、須頃、まさしく三条市もドーナツ化現象であります。

高齢者にとって家の内も外も安心して住める環境作りがこれから重要になると思ひます。道路のデコボコでつまづいた。段差、穴があつて足が引っ掛つた、滑つた、転んだ、骨折した。それから散歩したいが歩道がない。高齢者向けの屋根のあるベンチが欲しい。集う場所が欲しいと言う声も出て来ています。とじこもり防止、生きがい作り、人に接する場の確保等重要になって来ております。

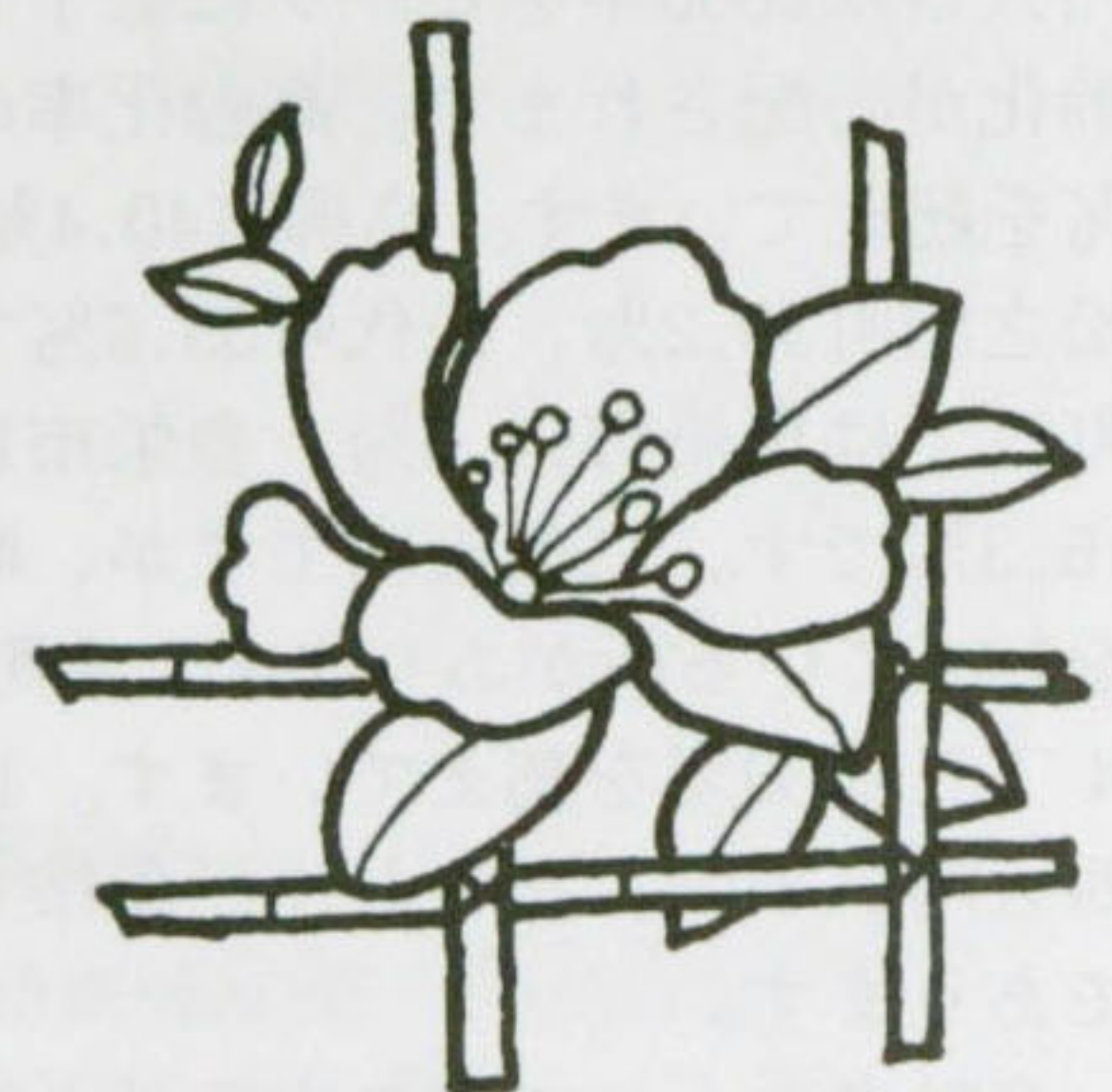
現在三条市では65才以上の高齢者が15,600人居られます。大多数の高齢者は元気で生き生きとしていらつしゃいます。昔の老人のイメージが全く無くなった感じがいたします。特に60代、70代、80代前半の方々はそのイメージがなくなりました。若い者には頼ることなくしっかりと生きていらつしゃるというふうに見受けられます。65才以上の高齢者の内13%、約2,000人が介護を要する高齢者です。年齢層が高くなるにつれて要介護者の数が増えます。60才代では1.5%、70才代では11.

5%、80から84才では24%、85才以上になると50%近くになります。現在介護は必要としないけれども足が痛い、膝が痛い、腰が痛い、目が悪い、リウマチがあるなど複数の病気を持っているという方々がこの要介護者とはほぼ同数近くおられると思ひます。家庭では掃除や洗濯、買物、食事の準備など家事が大変です。医院で受診するのも大変ですという高齢者、家事援助、生活支援、寝たきり予防ということが必要な方々が要介護者と同数位いらつしゃいます。又一人暮らしの高齢者は980人おられまして女性が男性の3倍おられます。女性の方がしっかりと生きておられますが男性の一人暮らしは大変あぶないので配慮が必要であります。高齢者のみの世帯が1999人になりましたがこれは又、一人暮らしよりも増加率が進んでいます。

介護をしている年齢を見ますと60才以上の介護者が50%。24.2%は70才以上の方が介護しておられます。高齢者が高齢者を介護しているという実態です。介護の年数は平均3年ですが5年、10年以上の方もあります。介護する人、される人の悩みは計り知れないものがあります。

基幹型では今年に入りましてから介護教室を8月から12月まで毎月1回開いて来ました。介護保険サービスの利用の方法をお話する教室ですが、その前段に介護する人とされる人の心を理解してもらいたいと思ひまして短時間の寸劇を作ってみました。それをご覧になった参加者の方々は感激をされて涙を流しておられました。介護は誰にでも起こりうる問題です。高齢者の心、介護者の心を皆なが理解しあえる地域作りをしていくにはどうしたらいいのかと投げかけています。介護保険制度に向けてスタート致しましたが行政の責任でやらなければならないことが沢山あります。市では保険料の徴収、認定申請受け、サービス提供等を市民福祉部でやっております。介護が必要となった時に先ず要介護認定を受けて頂きます。そして身近なケアプラン作製事業者にお願ひして介護サービスを総合的に利用者自身が選択して受けられるという利用しやすい仕組みになっております。市では介護認定申請受けを10月1日から始めていますが、10月は86才以上の方、11月は80才以上の方、12月は65才以上の方、1月以降は40から64才までの方としております。11月末現在で認定申請をされた方は898件、健康福祉課の窓口で直接おいでになられた方が118件ありました。あと780件の方が代行申請です。訪問調査もスタートしております。調査員は市の職員、ほかには施設や指定居宅介護支援事業者で構成され現在三条市では36の事業者に委託して実施しています。基本調査は85項目有る全国で統一された内容になつ

ています。今のところ調査員のがんばりで797件を終了させて頂きました。今後とも皆様にはご理解とご支援をよろしくお願い致します。



例会案内

| | | | |
|------|----------|----|----------------------|
| 三条RC | 12月29日例会 | 卓話 | 三条市日中友好の翼「教育交流団」 |
| | | | 団長 三条市立第二中学校校長 吉川一男殿 |
| | 1月5日例会 | 休会 | |

メイクアップをどうぞ

| | | |
|-------|----------|-----------|
| 三条南RC | 12月27日例会 | 会員卓話 |
| | 1月3日例会 | 休会 |
| 三条北RC | 12月28日例会 | 休会 |
| | 1月4日例会 | 休会 |
| 加茂RC | 12月30日例会 | 休会 |
| | 1月6日例会 | 夜の例会 於 阿部 |
| 燕RC | 12月30日例会 | 休会 |
| | 1月6日例会 | 通常例会 |
| 見附RC | 12月30日例会 | 休会 |
| | 1月6日例会 | 総会 |